

# オージー・リート・ ファンド(毎月分配型)

追加型投信／海外／不動産投信

日経新聞掲載名：豪リート毎月

当ファンドは、特化型運用を行います。

第10作成期 2021年4月17日から2021年10月18日まで

第55期 決算日  
2021年5月17日

第56期 決算日  
2021年6月16日

第57期 決算日  
2021年7月16日

第58期 決算日  
2021年8月16日

第59期 決算日  
2021年9月16日

第60期 償還日  
2021年10月18日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアのリートに実質的に投資を行うことで、インカムゲインの確保とともに信託財産の中長期的な成長を目指しました。ここに当作成期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当作成期の状況

償還価額(償還日)	14,288円17銭
純資産総額(償還日)	160百万円
騰落率(当作成期)	+10.3%
分配金合計(当作成期)	75円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

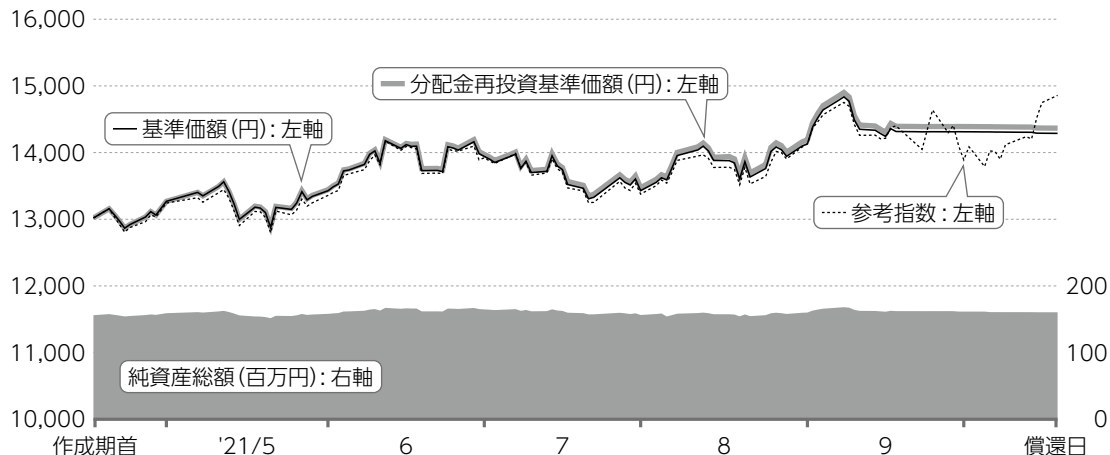
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年4月17日から2021年10月18日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	13,019円
償還日	14,288円17銭 (当作成期既払分配金75円(税引前))
騰落率	+10.3% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、S&P/ASX300 A-REIT指数(配当込み、円換算)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因(2021年4月17日から2021年10月18日まで)

当ファンドは、オージー・リート・マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託(リート)等に実質的に投資を行いました。

ただし、マザーファンドにおいては、繰上償還に向けて2021年9月中旬に保有リートを全売却し、その後は現金での安定運用を行いました。

### 上昇要因

- 長期金利が落ち着いた動きとなったこと
- 堅調な企業業績が発表されたこと

### 下落要因

- FOMC(米連邦公開市場委員会)で年内のテーパリング(量的緩和の段階的縮小)開始が示唆されたこと

当ファンドは特化型運用を行います。特化型運用ファンドとは、投資対象に一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度が10%を超える支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いファンドを言います。

当ファンドが実質的な主要投資対象とするオーストラリアの不動産投資信託証券(リート)には、寄与度が10%を超えるまたは超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄へ投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

1万口当たりの費用明細(2021年4月17日から2021年10月18日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>95円</b>	<b>0.691%</b>	<b>信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)</b> <b>期中の平均基準価額は13,807円です。</b>
(投信会社)	(35)	(0.251)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(58)	(0.418)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>40</b>	<b>0.287</b>	<b>売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(40)	(0.287)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>17</b>	<b>0.122</b>	<b>その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数</b>
(保管費用)	(17)	(0.122)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(-)	(-)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合計</b>	<b>152</b>	<b>1.100</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

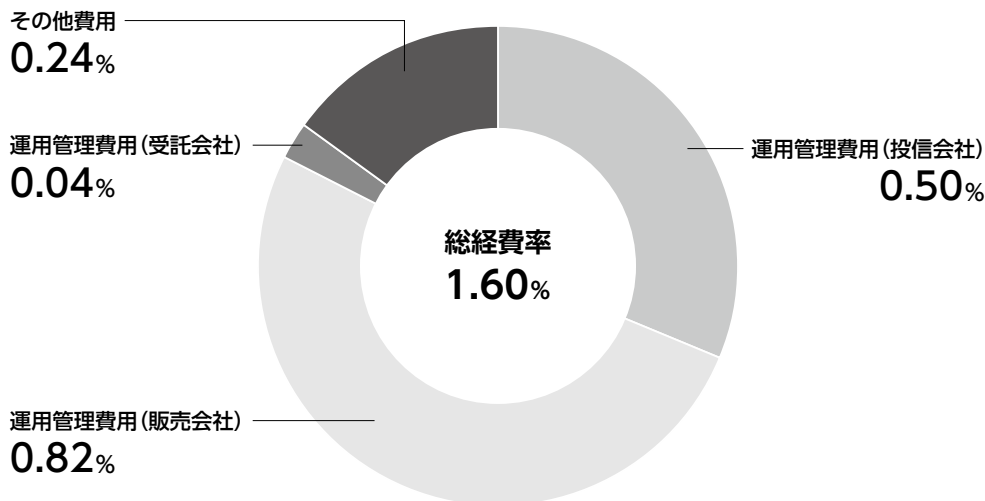
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

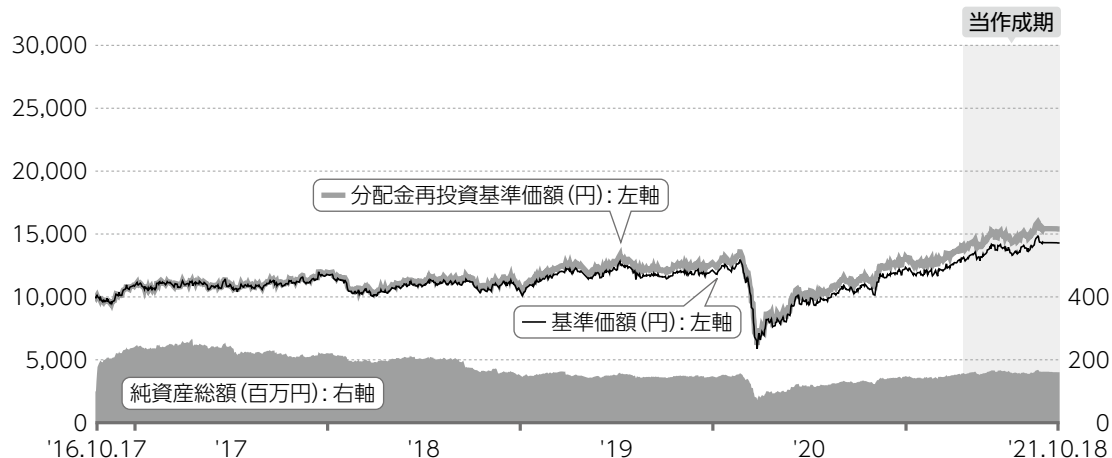
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.60%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2016年10月17日から2021年10月18日まで)

最近5年間の推移



		2016.10.17	2017.10.16	2018.10.16	2019.10.16	2020.10.16	2021.10.18
		設定日	決算日	決算日	決算日	決算日	償還日
基準価額	(円)	10,000	11,058	10,326	11,703	10,927	14,288.17
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	135	180	180	180	165
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	11.9	-5.1	15.1	-5.0	32.5
参考指数騰落率	(%)	—	13.7	-3.0	15.2	-9.6	40.3
純資産総額	(百万円)	100	211	160	145	132	160

※2021年9月21日のシステム統合により、小数点以下の端数処理等、計算ロジックの一部が変更となっています。

参考指数について

※当ファンドの参考指数は、S&P/ASX300 A-REIT指数(配当込み、円換算)です。

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の動向を示すために記載しています。

投資環境について(2021年4月17日から2021年10月18日まで)

期間におけるオーストラリアリート市場は、上昇しました。為替市場ではオーストラリアドルに対して円は横ばいとなりました。

### リート市場

期間を通じて、オーストラリアリート市場は上昇しました。

堅調な業績発表に加え、長期金利が落ち着いた動きとなったことなどを背景に、オーストラリア株式市場は全体に上昇基調となりました。

### 為替市場

期間末のオーストラリアドル円は、期初と比較して横ばいとなりました。

オーストラリアの金利低下局面では円高となりましたが、金利上昇を背景に円安傾向となりました。

ポートフォリオについて(2021年4月17日から2021年10月18日まで)

### 当ファンド

主要投資対象であるオージー・リート・マザーファンドを期間を通じて高位に組み入れました。その後、2021年10月の償還に向けてマザーファンドを売却し、2021年10月18日に満期償還いたしました。

### オージー・リート・マザーファンド

オーストラリアの不動産投資信託(リート)に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行いました。

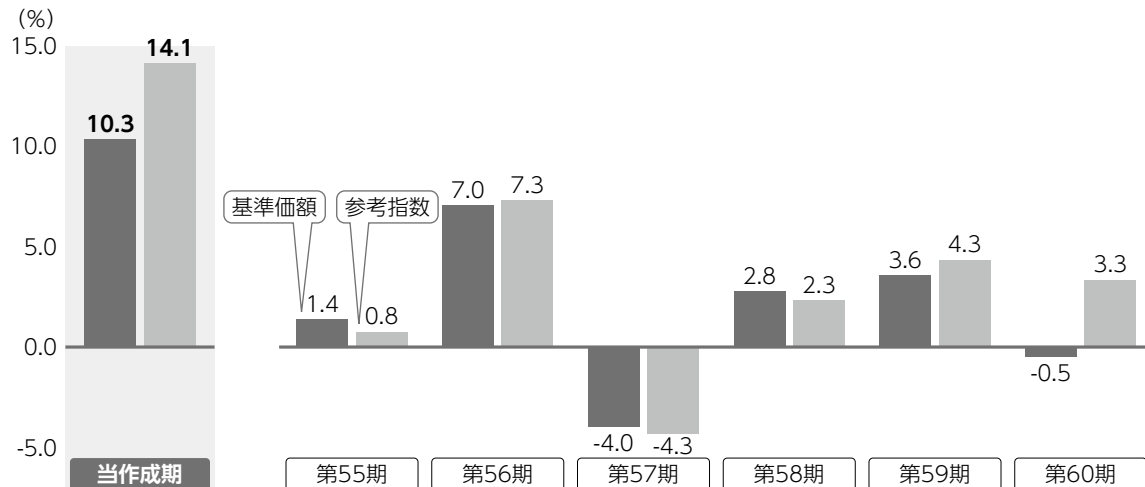
ただし、繰上償還に向けて2021年9月中旬に保有リートを全売却し、その後は現金での安定運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2021年4月17日から2021年10月18日まで)

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてS&P/ASX300 A-REIT指数(配当込み、円換算)を設けています。

以下のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の騰落率対比



※当作成期の基準価額は分配金再投資ベース、各期は分配金(税引前)込み。



### 分配金について(2021年4月17日から2021年10月18日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたしました。

なお、第60期については、償還のため該当事項はございません。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期
当期分配金	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	(0.11%)	(0.11%)	(0.11%)	(0.11%)	(0.10%)
当期の収益	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,258	4,170	4,237	4,238	4,435

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

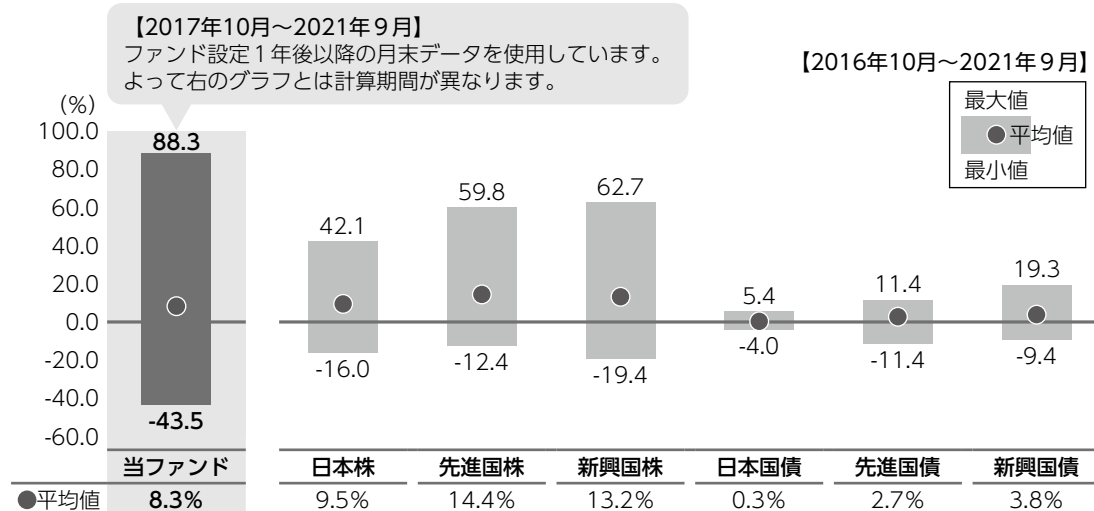
### 約款変更について

該当事項はございません。

## 4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／不動産投信
信 託 期 間	2016年10月17日から2021年10月18日まで
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアのリートに実質的に投資を行うことで、インカムゲインの確保とともに信託財産の中長期的な成長を目指します。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>オージー・リート・マザーファンド</b> オーストラリアの不動産投資信託証券
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主としてオーストラリアの不動産投資信託(リート)等を実質的に投資することで、インカムゲインの確保とともに信託財産の中長期的な成長を目指します。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組 入 制 限	<p><b>当ファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li> <li>■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li> </ul> <p><b>オージー・リート・マザーファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li> <li>■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> </ul>
分 配 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■毎月16日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	MSCIコクサインデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

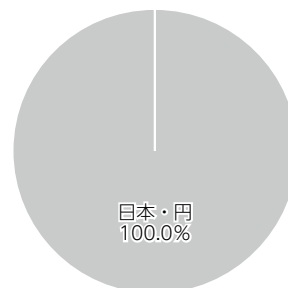
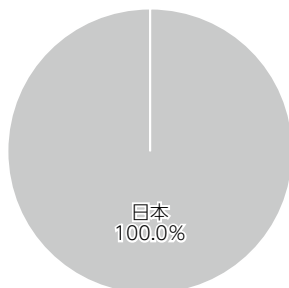
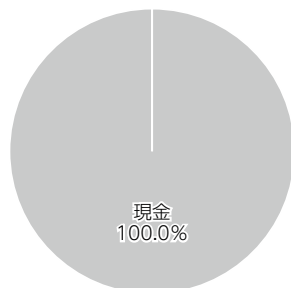
## 6 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容(2021年10月18日)

#### 組入れファンド等

償還日現在の組入れはありません。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末	第60期末
	2021年5月17日	2021年6月16日	2021年7月16日	2021年8月16日	2021年9月16日	2021年10月18日
純資産総額 (円)	154,213,973	166,102,497	159,831,882	157,500,115	162,683,801	160,481,206
受益権総口数 (口)	116,999,821	117,858,195	118,208,879	113,481,141	113,306,153	112,317,512
1万口当たり基準価額(円)	13,181	14,093	13,521	13,879	14,358	14,288.17

※当作成期における、追加設定元本額は1,254,797円、解約元本額は8,824,950円です。

## 7 償還を迎えて

当ファンドは、2021年10月18日に償還となりました。

皆さまのこれまでのご愛顧に御礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。